



明けの傷船 F100

田村 俊夫 遺作展

2015年 8月7日(金) - 9月8日(火)



真下慶治記念美術館
massimo keiji memorial museum of art

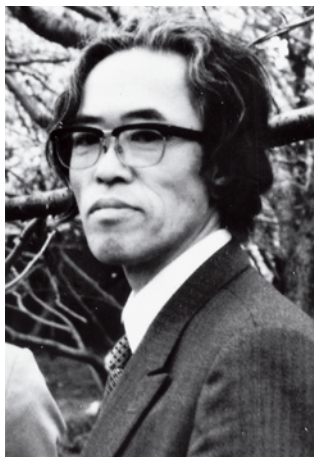
〒995-0054 山形県村山市大字大淀1084-1

TEL 0237-52-3195 FAX 0237-55-2152 E-mail massimo@city.murayama.lg.jp ホームページ [真下慶治記念美術館](#) 検索

開館時間/午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日/水曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始休み 入館料/大人 300円 小・中学生 150円(15人以上の団体は大人 250円 小・中学生 100円)

田村 俊夫 遺作展

2015年8月7日(金) - 9月8日(火)



田村 俊夫 略歴

- 1949年 東京高等師範学校 (現筑波大)卒業
- 1955年 一水会展出品
- 1978年 尺水会展出品
- 1979年 一水会展佳作賞受賞
- 1981年 日展出品
- 1983年 逝去

県立楯岡高等学校教師
 県立山形西高等学校教師
 県展無鑑査
 創元会・大潮会展に出品
 一水会出品
 尺水会・VAN会・村山美術会員

田村俊夫遺作展によせて

父田村俊夫が他界してから、三十三年の月日が流れました。私の記憶の中にある父が、教員としてその大部分を過ごした楯岡高等学校も、新しい学校へと生まれ変わろうとしています。そんな今年、真下慶治記念美術館館長の真下清美様、楯岡高等学校のOBの方々のご尽力により、田村俊夫遺作展を開催させて頂くことになりましたことに、心から感謝申し上げます。

父が突然世を去ったとき、まだ学生で家を離れていた私は、父の遺品について十分な手を掛けることが出来ませんでした。完成・未完成に関わらず、父のアトリエにあった絵は、みな物置で埃をかぶることになりました。しかし、父が最後に家のあちこちに飾っていた作品は三十有余年そのまま、家の中であたかもそこだけ時間が止まっているかのようです。

芸術に疎い私には絵のことは全くわかりませんが、父はその生涯において、何度か作風や題材が変化したように思います。その父が最後に自ら飾っていた絵は、きっと本人が特に気に入っていた作品ではないかと思えます。そこで今回は、そんな絵を中心に展示させて頂きました。どうぞ、ごゆっくりご覧ください。 田村 嵩



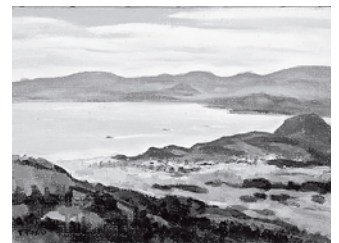
煉瓦の倉庫 F100



廃船のある風景 F100



柿 F6



風景 F4



シクラメンと貝 F30



シクラメン F12



アクセス

- ・JR村山駅から
タクシーで10分
- ・東根ICから車で20分

常設展示室 最上川Ⅱ

6月26日(金)-9月8日(火)